

# 料金表

(平成29年4月20日改正)

この料金表は、平成29年4月1日以降の利用に適用します。

(H27.11.1 櫛葉遠隔技術開発センターの利用料金追加)

(H28.1.13 研究炉JRR-4の供用施設指定解除に伴う料金表からの削除)

(H28.1.29 櫛葉遠隔技術開発センター利用料金について一部見直し及び特別措置追加)

(H28.4.1 量子科学技術研究開発機構へ移管した施設・設備の削除)

(H28.7.13 櫛葉遠隔技術開発センターを利用する場合の取扱手数料の改定(平成28年4月1日適用))

(H28.9.28 櫛葉遠隔技術開発センター利用料金の改定)

(H29.4.20 材料試験炉施設(JMTR)の供用施設指定解除(ホットラボを除く)に伴う料金表からの削除(平成29年4月1日適用))

---

## 供用施設の利用料金の構成

利用料金 = 取扱手数料(10,700円<sup>\*1</sup>/利用1件当たり) + 施設の運転に係る経費 + 追加経費<sup>\*2</sup> + 放射性廃棄物の貯蔵、処理及び処分に係る経費<sup>\*2</sup>

\*1 櫛葉遠隔技術開発センターについては利用1件当たり900円とする。

\*2 該当ある場合のみ徴収する。

\*3 取扱手数料及び各経費は消費税を含む。

## JRR-3

(単位：円)

区 分		研究開発						研究開発以外	備 考
		成果公開			成果非公開			商業利用等	
		一般課題	競争的資金利用		一般課題	産業利用促進(条件付)			
		施設の運転に係る経費の単価	条件		施設の運転に係る経費の単価	条件		施設の運転に係る経費の単価	
1G	高分解能粉末中性子回折装置 (HRPD)	2,410	13,320	助成総額2,000万円以上 (専門部会意見聴取)	39,970	*2	—	44,130	1日当たり *1
2G	偏極中性子三軸型分光器 (TAS-1)	7,240	39,970	助成総額2,000万円以上 (専門部会意見聴取)	119,920	*2	—	132,400	1日当たり *1
3G	精密中性子光学装置 (PNO)	7,240	39,970	助成総額2,000万円以上 (専門部会意見聴取)	119,920	*2	—	132,400	1日当たり *1
7R	熱中性子ラジオグラフィ装置 (TNRF)	410	2,240	助成総額2,000万円以上 (専門部会意見聴取)	6,730	*2	—	7,430	1日当たり *1
T1-4-1	即発ガンマ線分析装置 (PGA)	1,760	9,730	助成総額2,000万円以上 (専門部会意見聴取)	29,190	*2	—	32,230	1日当たり *1
T1-4-6	多目的単色熱中性子実験ポート(高角) (MUSASI-H)	1,760	9,730	助成総額2,000万円以上 (専門部会意見聴取)	29,190	*2	—	32,230	1日当たり *1
T2-1	中性子応力測定装置-1 (RESA-1)	3,530	19,460	助成総額2,000万円以上 (専門部会意見聴取)	58,380	*2	—	64,460	1日当たり *1
T2-3-1	多目的単色熱中性子実験ポート(低角) (MUSASI-L)	1,760	9,730	助成総額2,000万円以上 (専門部会意見聴取)	29,190	*2	—	32,230	1日当たり *1
T2-4	高分解能三軸型中性子分光器 (TAS-2)	3,530	19,460	助成総額2,000万円以上 (専門部会意見聴取)	58,380	*2	—	64,460	1日当たり *1
C2-1	冷中性子三軸型分光器 (LTAS)	3,300	18,240	助成総額2,000万円以上 (専門部会意見聴取)	54,710	*2	—	60,400	1日当たり *1
C2-2	偏極中性子反射率計 (SUIREN)	3,300	18,240	助成総額2,000万円以上 (専門部会意見聴取)	54,710	*2	—	60,400	1日当たり *1
C2-3-3-1	冷中性子ラジオグラフィ装置 (CNRF)	1,100	6,080	助成総額2,000万円以上 (専門部会意見聴取)	18,240	*2	—	20,130	1日当たり *1
C2-3-3-2	パルス中性子機器開発装置 (CHOP)	1,100	6,080	助成総額2,000万円以上 (専門部会意見聴取)	18,240	*2	—	20,130	1日当たり *1
C3-1-2-1	中性子光学システム評価装置 (NOP)	1,100	6,080	助成総額2,000万円以上 (専門部会意見聴取)	18,240	*2	—	20,130	1日当たり *1
C3-2	集光型偏極中性子超小角散乱装置 (SANS-J-II)	3,300	18,240	助成総額2,000万円以上 (専門部会意見聴取)	54,710	*2	—	60,400	1日当たり *1
VT-1		34,600	190,980	申請前に要打合せ	572,930			照射孔あたり1試料限定	1サイクル・1標準容器当たり *3
RG-1~4		34,390	189,790	申請前に要打合せ	569,370			照射孔あたり1試料限定	1サイクル・1標準容器当たり
BR-1~4		45,620	251,810	申請前に要打合せ	755,420			照射孔あたり1試料限定	1サイクル・1標準容器当たり

HR-1~2	280	1,550	申請前に要打合せ	4,650		照射孔あたり1試料限定	5,140	1時間・1標準容器当たり
気送照射設備（PN-1~2）	20	100	申請前に要打合せ	310		照射孔あたり1試料限定	350	1分・1標準容器当たり
放射化分析用照射設備（PN-3）	80	460	申請前に要打合せ	1,390		照射孔あたり1試料限定	1,530	1時間当たり
SI-1 *4	10	30	申請前に要打合せ	100		照射孔あたり1試料限定	110	1時間・1標準容器当たり
DR-1	10,270	56,710	申請前に要打合せ	170,130		照射孔あたり1試料限定	187,830	1サイクル・1標準容器当たり
SH-1	14,420	79,570	申請前に要打合せ	238,710		照射孔あたり1試料限定	263,550	1サイクル・1標準容器当たり
Z（追加経費）								
実験室	実験室1			4,260				1日当たり*1
	実験室2			4,260				1日当たり*1
	PN3実験室			5,190				1日当たり*1
キャプセル	水力照射設備用アルミキャプセル			13,610				1個当たり
	気送照射設備用ポリエチレンキャプセル			490				1個当たり
	気送照射設備用インナーキャプセル			490				1個当たり
	放射化分析照射設備用ポリエチレンキャプセル			380				1個当たり
	放射化分析照射設備用高純度キャプセル			520				1個当たり
補助装置	5テスラ横磁場マグネット			2,800				1日当たり*1
	10テスラ縦磁場マグネット			9,770				1日当たり*1
	4-800K 温度可変装置			2,700				1日当たり*1
	オレンジクライオスタット			2,530				1日当たり*1
	定荷重型高圧力装置			1,240				1日当たり*1

\*1 1日未満は1日とみなす。

\*2 成果非公開の産業利用促進（条件付）の設定はない。

\*3 「標準容器」とは、外径25mm×長さ65mmのキャプセルに相当する容器とする。（以下同じ。）

\*4 JRR-3のシリコン照射設備を利用してシリコン照射を行う場合、7,970円/時間を適用する。

注) 原子炉運転の変更に伴う料金の調整

JRR-3の料金表は、原子炉が最大熱出力20MWで、1サイクル当たり602時間運転された場合の料金を示している。原子炉の熱出力又は運転時間が変更された場合には、それぞれ次のとおり料金を調整する。

(1) 熱出力が変更された場合、表示料金に次の係数を乗じた額を適用する。

10MW未満 0.5  
10MW以上15MW未満 0.75  
15MW以上20MW未満 1.0

(2) 1サイクル当たりの料金が定められている実験装置等を1サイクルに満たない日数利用した場合、表示料金を1日当たりの料金を換算した額を適用する。この場合、1サイクルは25日間とする。

タンデム加速器		研究開発					研究開発以外	備考
		成果公開		成果非公開			商業利用等	
区分	一般課題	競争的資金利用		一般課題	産業利用促進（条件付）			施設の運転に係る経費の単価
	施設の運転に係る経費の単価	条件		施設の運転に係る経費の単価	条件			
タンデム加速器	2,170	35,680	無	107,040	2,170	1回限り (6時間まで)	125,940	ビーム利用時間1時間当たり

注)

- (1) ビーム利用時間とは、イオンビームを利用するために当該装置を専有している時間とし、1時間未満は1時間とみなす。
- (2) 当該装置の専有時間は、装置の調整時間と照射実施時間（利用開始時刻から利用終了時刻までの全時間で、試料交換や真空引きの時間も含むものとする。）の合計時間とする。
- (3) 1利用当たりの調整時間は、1時間とする。

燃料試験施設		研究開発					研究開発以外	備考
		成果公開		成果非公開			商業利用等	
区分	一般課題	競争的資金利用		一般課題	産業利用促進（条件付）			施設の運転に係る経費の単価
	施設の運転に係る経費の単価	条件		施設の運転に係る経費の単価	条件			
照射後試験費（β-γ施設）	4,590	5,820	無	17,460	4,590	1 課題申請限り	18,260	1点当たり

注)

- (1) 施設の運転に係る経費は、利用者が試験を申し込む試験項目の点数に、料金単価（試験点数1点当たりの料金）を乗じたものの合計となる。試験項目別点数は、下表に示す。
- (2) 試験点数1点当たりの料金は、運転に係る年間の経費を年間運転時間で除して算定する。ただし、この際の年間運転時間は実際に試験を実施することが可能な時間であって、点検作業等の時間は含まないものとする。

	試験項目	点数	備考
集合体	燃料集合体及び燃料要素受入れ（NH-25）	120	
	燃料集合体及び燃料要素受入れ（MSF-1）	150	
	小試料受入れ	60	
	キャスク水分析	1.5 x	x = サンプル数
	再組立済燃料搬出	受入れに準ずる	
	燃料集合体プール内外観観察	14	
	燃料集合体特異部外観写真（プール）	(1 + 1.5n)	n = 撮影箇所
	燃料集合体セル内外観観察	45	
	燃料集合体外観写真撮影	(23 + 4n)	n = ロールフィルム数
	燃料集合体特異部外観写真（セル）	(1 + 1.5n)	n = 撮影箇所
	燃料集合体寸法測定（セル）	(6 + 0.1x)	x = 測定箇所数
	燃料集合体放射線測定（セル）	11	
	燃料集合体重量測定（セル）	6	
	燃料集合体クラッド採取	(7 + 2n)	n = 採取箇所
	燃料集合体洗浄	11	
	燃料集合体解体（PWR, BWR）	53	
	燃料集合体解体（ATR）	77	
支持格子拘束力の緩和	1.4 x	x = 試料数	
燃料要素	燃料要素復元（パンクチャー孔下部切断）	3 x	x = 燃料要素数
	燃料要素復元（長尺端栓TIG溶接）	(7 + 3 x)	x = 燃料要素数
	燃料要素復元溶接部リーク検査	(14 + 5 x)	x = 燃料要素数
	燃料要素復元燃料要素挿入	5 x	x = 燃料要素数
	燃料要素引抜き測定	(5 + 4 x)	x = 引抜き本数
	燃料要素外観観察	21 x	x = 観察本数
	燃料要素外観連続写真	(21x + 4n)	x = 燃料要素数 n = ロールフィルム数

燃料要素特異部外観写真	$(1.5 + 1.5n) x$	x = 燃料要素数 n = 撮影箇所	
燃料要素クラッド採取	$(7 + 2nx)$	x = 燃料要素数 n = 採取箇所	
燃料要素洗浄	$7.5x$	x = 燃料要素数	
燃料要素寸法測定	$(6 + 4n) x$	x = 燃料要素数 n = 方向数	
γスキャンニング (グロス)	$13x$	x = 燃料要素数	
γスキャンニング (定点スペクトル)	$(6 + 7n) x$	x = 燃料要素数 n = 測定箇所	
γスキャンニング (ステップ)	$[2x + (L \times 2 \times 0.015)nx]$	x = 燃料要素数 n = 測定箇所 L = 燃料要素長	
燃料要素X線透過試験	$(9 + 11n) x$	x = 燃料要素数 n = 方向数	
燃料要素X線透過フィルム複写	$7.5x$	x = 複写枚数	
渦電流探傷試験	$18x$	x = 燃料要素数	
酸化膜厚さ測定	$(12 + 3n) x$	x = 燃料要素数 n = 方向数	
パンクチャー試験	$22.5x$	x = 燃料要素数	
ガス分析	$60 x$	x = 燃料要素数	
脱ミート (平均燃焼度 45GWd/t未満)	$(2 + 3 x)$	x = 試料数	
(平均燃焼度 45GWd/t以上)	$(2 + 45 x)$		
燃料要素切断 (マーキング)	$(2 \times 7.5/2) x$	x = 試料数	
燃料要素切断 (切断)	$(2 \times 7.5) x$	x = 試料数	
燃料要素下部端栓処理	$1 x$	x = 試料数 (キャップを被せる方式)	
燃料要素下部端栓加工	$3 x$	x = 試料数 (端栓切削する方式)	
試験片	試験状況写真	$(1 + 1.5nx)$	x = 試料数 n = 撮影枚数/試料
	引張試験用試料作製	$(5 + 7.5x)$	x = 試料数
	引張試験 (室温)	$(6 + 8x)$	
	(高温)	$(11 + 12x)$	x = 試料数
	圧縮試験用試料作製	$(5 + 7.5x)$	x = 試料数
	圧縮試験 (室温)	$(6 + 8x)$	
	(高温)	$(11 + 12x)$	x = 試料数
	内圧破裂試験用試料作製	$(5 + 12x)$	x = 試料数
	内圧破裂試験 (室温)	$(6 + 12x)$	
	(高温)	$(6 + 17x)$	x = 試料数
	プレナムスプリング特性試験	$(9 + 10x)$	x = 試料数
	金相試料作製	$(15 + 10x)$	x = 試料数
	金相試料前処理	$(6 + 4x)$	x = 試料数
マクロ (ミクロ) 観察・写真撮影	$(6 + 1.5n) x$	x = 試料数 n = 枚数/試料	

肉厚、ギャップ、酸化膜測定	各 1nx	x = 試料数 n = 枚数/試料
気孔率、結晶粒測定	各 3nx	x = 試料数 n = 枚数/試料
マイクロサンプリング	(5+2nx)	x = 試料数 n = サンプリング箇所/試料
マイクロサンプリング試料搬出	(3+4x)	x = 試料数
オートラジオグラフィ	(10+3.5x)	x = 試料数
被覆管内外面観察用試料作製	(6+8x)	x = 試料数
被覆管内外面観察・写真撮影	(6+2n) x	x = 観察撮影面数 n = 撮影方向数/観察撮影面
SEM観察用試料作製	(6+15x)	x = 試料数
SEM観察	(15+1n) x	x = 試料数 n = 観察箇所
EPMA試験 (点分析)	2nx	x = 試料数 n = 測定箇所
EPMA試験 (面分析)	(17+6nj) x	x = 試料数 j = 測定核種数 n = 測定箇所
硬度測定用試料作製	(2+12x)	x = 試料数
硬度測定	(5+4x)	x = 試料数
重量密度測定用試料作製	(15+3x)	x = 試料数
重量密度測定	(6+7x)	x = 試料数
ペレット密度測定 (開気孔率測定)	(6+7x)	x = 試料数
ペレット中含有ガス分析 (試料作製)	(6+1x)	x = 試料数
ペレット中含有ガス分析 (分析)	(10+30x)	x = 試料数
ペレットX線回折 (試料作製)	(6+4x)	x = 試料数
ペレットX線回折 (測定)	(4+2n) x	x = 試料数 n = 測定箇所/1 試料
ペレットX線回折 (焼鈍)	(2×7.5×2) x	x = 試料数
被覆管内圧破裂試験 (外周長測定)	(2×7.5/3) x	x = 試料数
被覆管SCC試験[内圧破裂法] (試料作製)	(21+8x)	x = 試料数
被覆管SCC試験[内圧破裂法] (試験)	(6+18x)	x = 試料数
被覆管超微小硬さ測定 (試料作製)	(6+4x)	x = 試料数
被覆管超微小硬さ測定 (測定)	(5+1nx)	x = 試料数 n = 測定箇所/1 試料
FE-SEM観察 (試料作製)	(6+15x)	x = 試料数
FE-SEM観察 (観察)	(15+1n) x	x = 試料数 n = 測定箇所/1 試料
その他の作業	人・時	本表に掲げていない試験項目及び作業等

放射性廃棄物の貯蔵、処理及び処分に係る経費の算定に用いる放射性廃棄物の発生量

区分		廃棄物性状等			処分区分	発生量 (施設利用料金1点当たり) (単位：リットル)	
		表面線量率等	性状等				
固体 廃棄物	ベータ・ガンマ	A-1	0.5mSv/h未満、またはβ核種のみ の場合は3.7G (Sr-90は370M) Bq/容器未満	可燃物	紙、布、木片、酢ビ、ゴム手等	ピット処分	2.9
				難燃物	塩ビ、ゴム、フィルタ等	ピット処分	0.2
				不燃物 (非金属)	コンクリート片、ガラス、土砂等	ピット処分	0.01
				不燃物 (金属)	炭素鋼、ステンレス等	炉以外金属	トレンチ処分 ピット処分
		A-2	0.5～2mSv/h	可燃物	紙、布、木片、酢ビ、ゴム手等	ピット処分	0.1
				難燃物	塩ビ、ゴム、フィルタ等	ピット処分	0.02
				不燃物 (非金属)	コンクリート片、ガラス、土砂等	ピット処分	0.02
				不燃物 (金属)	炭素鋼、ステンレス等	炉以外金属	ピット処分
		B-1	2～4000 mSv/h、β核種のみ の場合は3.7G～370GBq/容器 (Sr-90では370MBq以上)	可燃、難燃	紙、布、木片、酢ビ、ゴム手、塩ビ、ゴム、フィルタ等	余裕深度処分	0.04
						地層処分	0.04
				不燃物	コンクリート片、ガラス、土砂、炭素鋼、ステンレス等	余裕深度処分	0.04
						地層処分	0.04
液体 廃棄物	ベータ・ガンマ	A	H-3以外は0.37～37Bq/cm <sup>3</sup> 、H-3のみは3.7k～370kBq/cm <sup>3</sup>	無機廃液	液体	ピット処分	3.0
		B-1	H-3以外のβγが37Bq/cm <sup>3</sup> ～37kBq/cm <sup>3</sup>	Aに準ずる	液体	ピット処分	1.0



常 陽

施設の運転に係る経費＝照射費＋照射後試験費で算出

照射費

(単位：円)

区 分	研 究 開 発						研究開発以外	備 考
	成果公開			成果非公開			商業利用等	
	一般課題	競争的資金利用		一般課題	産業利用促進（条件付）			
	施設の運転に係る経費の単価	条件		施設の運転に係る経費の単価	条件		施設の運転に係る経費の単価	
照射費（反射体領域）	450	1,130	申請前に要打合せ	3,380	450	1 課題申請	3,600	1 照射単位当たり（ $10^{19} \text{m}^{-2} \cdot \text{m}^3$ ）
照射費（燃料領域）	450	1,370	申請前に要打合せ	4,110	450	1 課題申請	4,330	1 照射単位当たり（ $10^{19} \text{m}^{-2} \cdot \text{m}^3$ ）

注)

(1) 照射費（照射試験に要する中性子数に対する料金）は、照射単位（ $10^{19} \text{m}^{-2} \cdot \text{m}^3$ ）当たりの単価に、利用する照射位置の全中性子束（ $\text{m}^{-2} \cdot \text{s}^{-1}$ ）とキャプセル等の体積（ $\text{m}^3$ ）及び照射時間（s）を乗じて算出する。

照射後試験費

(1) 照射燃料集合体試験施設（FMF）

(単位：円)

区 分	研 究 開 発						研究開発以外	備 考	
	成果公開			成果非公開			商業利用等		
	一般課題	競争的資金利用		一般課題	産業利用促進（条件付）				
	施設の運転に係る経費の単価	条件		施設の運転に係る経費の単価	条件		施設の運転に係る経費の単価		
非破壊試験 既設	集合体外観検査	3,770	14,380	無	43,150	3,770	1 課題申請	49,000	1 時間当たり
	集合体ナトリウム洗浄	3,770	14,380	無	43,150	3,770	1 課題申請	49,000	1 時間当たり
	集合体寸法測定	3,770	14,380	無	43,150	3,770	1 課題申請	49,000	1 時間当たり
	集合体解体	3,770	14,380	無	43,150	3,770	1 課題申請	49,000	1 時間当たり
	集合体部材切断	3,770	14,380	無	43,150	3,770	1 課題申請	49,000	1 時間当たり
	ピン重量測定	3,770	14,380	無	43,150	3,770	1 課題申請	49,000	1 時間当たり
	ピン詳細外観検査	3,770	14,380	無	43,150	3,770	1 課題申請	49,000	1 時間当たり
	渦電流探傷試験	3,770	14,380	無	43,150	3,770	1 課題申請	49,000	1 時間当たり
	ピン寸法測定	3,770	14,380	無	43,150	3,770	1 課題申請	49,000	1 時間当たり
	ピン（ラップ管）γスキャン	3,770	14,380	無	43,150	3,770	1 課題申請	49,000	1 時間当たり
	ピンバンクチャ	3,770	15,000	無	45,000	3,770	1 課題申請	50,860	1 時間当たり
	ピン切断	3,770	14,380	無	43,150	3,770	1 課題申請	49,000	1 時間当たり
	X線ラジオグラフィ	3,770	15,160	無	45,490	3,770	1 課題申請	51,350	1 時間当たり
特殊燃料集合体再組立	3,770	14,380	無	43,150	3,770	1 課題申請	49,000	1 時間当たり	

金相試験	光学顕微鏡観察	1,190	13,180	無	39,540	1,190	1 課題申請	45,360	1 時間当たり
	SEM観察	1,190	13,180	無	39,540	1,190	1 課題申請	45,360	1 時間当たり
非破壊試験 増設	集合体外観検査	3,770	14,380	無	43,150	3,770	1 課題申請	49,000	1 時間当たり
	集合体寸法測定	3,770	14,380	無	43,150	3,770	1 課題申請	49,000	1 時間当たり
	集合体解体	3,770	14,380	無	43,150	3,770	1 課題申請	49,000	1 時間当たり
	集合体部材切断	3,770	14,380	無	43,150	3,770	1 課題申請	49,000	1 時間当たり
	ピン重量測定	3,770	14,380	無	43,150	3,770	1 課題申請	49,000	1 時間当たり
	ピン詳細外観検査	3,770	14,380	無	43,150	3,770	1 課題申請	49,000	1 時間当たり
	渦電流探傷試験	3,770	14,380	無	43,150	3,770	1 課題申請	49,000	1 時間当たり
	ピン寸法測定	3,770	14,380	無	43,150	3,770	1 課題申請	49,000	1 時間当たり
	ピン（ラップ管）γスキャン	3,770	14,440	無	43,320	3,770	1 課題申請	49,180	1 時間当たり
	X線CT検査	3,770	18,110	無	54,340	3,770	1 課題申請	60,780	1 時間当たり
MARICO再組立	3,770	14,380	無	43,150	3,770	1 課題申請	49,000	1 時間当たり	
輸送	「常陽」受払	410	16,330	無	49,000	410	1 課題申請	54,810	1 時間当たり
	事業所内運搬	410	16,330	無	49,000	410	1 課題申請	54,810	1 時間当たり
	事業所外運搬（TN6-4, 5）	410	16,330	無	49,000	410	1 課題申請	54,810	1 時間当たり
	事業所外運搬（P-3S）	410	16,460	無	49,370	410	1 課題申請	55,180	1 時間当たり
	もんじゅ受入	410	23,010	無	69,020	410	1 課題申請	76,950	1 時間当たり

(2) 照射燃料試験施設（AGF）

（単位：円）

区分	研究開発						研究開発以外		備考
	成果公開			成果非公開			商業利用等		
	一般課題	競争的資金利用		一般課題	産業利用促進（条件付）				
	施設の運転に係る経費の単価	条件		施設の運転に係る経費の単価	条件		施設の運転に係る経費の単価		
製造試験	ペレット製造	4,200	14,190	無	42,570	4,200	1 課題申請	45,000	1 時間当たり
	ピン溶接及び溶接検査	4,200	14,190	無	42,570	4,200	1 課題申請	44,740	1 時間当たり
	X線透過検査	4,200	14,190	無	42,570	4,200	1 課題申請	44,740	1 時間当たり
	光学顕微鏡観察	4,200	14,190	無	42,570	4,200	1 課題申請	44,780	1 時間当たり
物性試験	融点測定	3,350	13,160	無	39,490	3,350	1 課題申請	41,660	1 時間当たり
	FP放出試験	3,350	13,160	無	39,490	3,350	1 課題申請	42,040	1 時間当たり
	O/M比測定	3,350	13,160	無	39,490	3,350	1 課題申請	41,660	1 時間当たり

	X線回折	3,350	13,160	無	39,490	3,350	1 課題申請	41,660	1 時間当たり
分析試験	EPMA分析	3,440	15,300	無	45,890	3,440	1 課題申請	48,060	1 時間当たり
	蒸発性不純物分析	3,440	13,060	無	39,190	3,440	1 課題申請	41,360	1 時間当たり
	ICP発光分光分析	3,440	13,060	無	39,190	3,440	1 課題申請	41,360	1 時間当たり
	ハロゲン分析	3,440	13,060	無	39,190	3,440	1 課題申請	41,360	1 時間当たり
	水分分析	3,440	13,060	無	39,190	3,440	1 課題申請	41,360	1 時間当たり
	アクチニド核種分析	3,440	13,060	無	39,190	3,440	1 課題申請	41,360	1 時間当たり
	燃焼率測定	3,440	13,060	無	39,190	3,440	1 課題申請	42,670	1 時間当たり

(3) 照射材料試験施設 (MMF)

(単位：円)

区 分		研究開発						研究開発以外	備 考
		成果公開			成果非公開			商業利用等	
		一般課題	競争的資金利用		一般課題	産業利用促進 (条件付)			
		施設の運転に係る経費の単価	条件		施設の運転に係る経費の単価	条件		施設の運転に係る経費の単価	
強度試験	被覆管引張試験	3,300	15,140	無	45,430	3,300	1 課題申請	48,140	1 時間当たり
	被覆管急速加熱バースト試験	3,300	15,140	無	45,430	3,300	1 課題申請	48,520	1 時間当たり
	被覆管バースト試験	3,300	15,140	無	45,430	3,300	1 課題申請	48,140	1 時間当たり
	密度測定 燃料ピン	3,300	15,140	無	45,430	3,300	1 課題申請	48,140	1 時間当たり
	密度測定 部材	3,300	15,140	無	45,430	3,300	1 課題申請	48,470	1 時間当たり
	引張試験	3,300	15,140	無	45,430	3,300	1 課題申請	50,040	1 時間当たり
	シャルピー衝撃試験	3,300	15,140	無	45,430	3,300	1 課題申請	48,140	1 時間当たり
	試験片加工、調整作業	3,300	15,140	無	45,430	3,300	1 課題申請	48,140	1 時間当たり
	磁化測定	3,300	15,140	無	45,430	3,300	1 課題申請	48,140	1 時間当たり
	ガス封入	3,300	15,140	無	45,430	3,300	1 課題申請	48,140	1 時間当たり
	単軸クリープ試験	50	590	無	1,780	50	1 課題申請	1,810	1 時間当たり
物性試験	光学顕微鏡観察	2,770	15,210	無	45,620	2,770	1 課題申請	46,920	1 時間当たり
	FE-TEM観察	2,770	16,400	無	49,210	2,770	1 課題申請	51,060	1 時間当たり
	ガス分析	2,770	15,210	無	45,620	2,770	1 課題申請	46,690	1 時間当たり
	TEM観察	2,770	16,400	無	49,210	2,770	1 課題申請	50,280	1 時間当たり
	硬さ試験	2,770	15,210	無	45,620	2,770	1 課題申請	47,020	1 時間当たり
	熱伝導率測定	2,770	15,210	無	45,620	2,770	1 課題申請	46,690	1 時間当たり

熱膨張率測定	2,770	15,210	無	45,620	2,770	1 課題申請	46,690	1 時間当たり
X線回折	2,770	15,210	無	45,620	2,770	1 課題申請	46,690	1 時間当たり

ホットラボ施設		
区 分	施設の運転に係る経費の単価	備 考
コンクリートセル	21,100	1時間当たり
顕微鏡セル	2,840	1時間当たり
鉛・鉄セル	6,170	1時間当たり
X線・γスキャン	33,160	1時間当たり
XMA	16,140	1時間当たり
微細組織解析装置	147,840	1時間当たり

(単位：円)

ただし、1時間未満は1時間とみなす。

放射光科学研究施設								(単位：円)
区 分	研 究 開 発					研究開発以外		備 考
	成果公開			成果非公開		商業利用等		
	一般課題	競争的資金利用		一般課題	産業利用促進（条件付）			
	施設の運転に係る経費の単価	条件		施設の運転に係る経費の単価	条件			
ビームライン利用料	9,580	22,700	助成総額2,000万円以上 (専門部会から意見聴取) 申請前に要打合せ	68,110	*2	—	115,440	1シフト（8時間）当たり

\*1 研究開発利用における成果非公開利用及び研究開発利用以外の利用については、ビームライン利用料に加えて、公益財団法人高輝度光科学研究センターが定める専用ビームラインのビーム使用料312,000円/シフトを代行徴収する。なお、当該ビーム使用料が改定された場合には、改定後のビーム使用料を代行徴収する。

\*2 成果非公開の産業利用促進（条件付）の設定はない。

ペレトロン年代測定装置		研究開発						研究開発以外	備考
		成果公開			成果非公開			商業利用等	
区分	一般課題	競争的資金利用		一般課題	産業利用促進（条件付）		施設の運転に係る経費の単価		
	施設の運転に係る経費の単価	条件		施設の運転に係る経費の単価	条件				
分析料金		3,920	5,530	無	16,600	3,920	3課題まで 各10試料以内	18,850	1 試料当たり
Z（追加経費）		①	②	③					
前 処 理 料 金	貝殻	34,350	51,520		1 試料当たり				
	炭酸塩	34,350	51,520		1 試料当たり				
	木片	34,350	51,520	71,260	1 試料当たり				
	土壌	34,350	51,520	83,270	1 試料当たり				

- ① グラファイト化のみ
- ② CO<sub>2</sub>精製及びグラファイト化
- ③ 洗浄、CO<sub>2</sub>精製及びグラファイト化

(単位：円)

タンデトロン施設		研究開発						研究開発以外	備考
		成果公開			成果非公開			商業利用等	
		一般課題	競争的資金利用		一般課題	産業利用促進（条件付）			
		施設の運転に係る経費の単価	条件		施設の運転に係る経費の単価	条件		施設の運転に係る経費の単価	
区分									
炭素ライン									
分析料金		3,560	7,840	無	23,510	3,560	利用初回 10試料以内	31,790	1 試料当たり
Z（追加経費）									
前処理料金	骨・炭酸カルシウム				19,080				1 試料当たり
	土壌・木片等				18,960				1 試料当たり
	海水				30,760				1 試料当たり
	二酸化炭素				14,410				1 試料当たり
	試料プレス				1,270				1 試料当たり
ヨウ素ライン									
分析料金		3,560	13,150	無	39,450	3,560	利用初回 10試料以内	54,350	1 試料当たり
Z（追加経費）									
前処理料金	試料プレス				1,270				1 試料当たり



放射線標準施設		研究開発					研究開発以外	備考
		成果公開		成果非公開			商業利用等	
区分	一般課題	競争的資金利用		一般課題	産業利用促進（条件付）			施設の運転に係る経費の単価
	施設の運転に係る経費の単価	条件		施設の運転に係る経費の単価	条件			
加速器中性子・γ線照射設備	5,900	17,260	無	51,790	5,900	初回1設備限定	82,650	1時間当たり
RI中性子照射設備	840	4,800	無	14,390	840		19,370	
γ線照射設備	860	3,730	無	11,190	860		14,270	
X線照射設備	170	3,130	無	9,380	170		13,060	
β線照射設備	1,700	2,700	無	8,090	1,700		9,090	

注)

(1) 照射設備の利用時間は、放射線を利用するために、加速器、照射装置等の設備を専有している時間とし、1時間未満は10分単位で表す。利用料金は、1の位を繰り上げて、10円単位とする。

(2) 当該設備の専有時間は、装置の調整時間と照射実施時間（利用開始時刻から利用終了時刻までの全時間で、照射物品の設置、交換の時間も含むものとする。）の合計時間とする。

## 檜葉遠隔技術開発センター

(単位：円)

区分	エリア区分	利用料金		備考	
		施設の運転に係る経費の単価	特別措置(注)		
モックアップ試験施設 試験棟	ロボット試験エリア (1,216m <sup>2</sup> ) *1 以下の設備は、設備単位(設備毎の面積)での利用 利用料金は、高さ 0m~10mまでの料金を適用 試験用水槽：48m <sup>2</sup> モックアップ階段：43m <sup>2</sup> モーションキャプチャ：225m <sup>2</sup>	高さ 0m~40mまで	151	76	(1m <sup>2</sup> ・1日)当たり
		高さ 0m~10mまで	98	49	
		高さ 10m超~40mまで (上空のみ利用する場合)	53	27	
	共通エリア (1,368m <sup>2</sup> ) *1				
(追加経費)					
実験室等	試験棟付属建屋 研究準備室(129m <sup>2</sup> ) *1		151	76	(1m <sup>2</sup> ・1日)当たり
	試験棟付属建屋 研究室 1		7,248	3,624	1日当たり
	試験棟付属建屋 研究室 2		7,097	3,549	
	試験棟付属建屋 研究室 3		8,758	4,379	
	試験棟付属建屋 研究室 4 *2		11,476	5,738	
	試験棟付属建屋 研究室 5 *2		10,872	5,436	
	試験棟付属建屋 研究室 6 *2		9,996	4,983	
	試験棟付属建屋 会議室		1,208	604	1時間当たり
	研究管理棟 利用者室 1		8,580	4,290	1日当たり
	研究管理棟 利用者室 2		9,009	4,505	
	研究管理棟 利用者室 3		9,581	4,791	
	研究管理棟 共用会議室		965	483	1時間当たり
	研究管理棟 講義室 1		644	322	
	研究管理棟 講義室 2		661	331	
	研究管理棟 バーチャルリアリティ室 (VRシステム)		4,183	2,092	
	研究管理棟 第1会議室		1,001	501	
	研究管理棟 第2会議室		1,269	635	
	研究管理棟 多目的室		5,792	2,896	
倉庫		80	40	(1m <sup>2</sup> ・1日)当たり	

\*1 利用内容に応じて、必要なスペースを分割して利用いただけます。

\*2 ロボットシミュレータの利用も可能です。ロボットシミュレータの利用料金は、上記各研究室の料金に含まれます。

注)

## 利用料金の特別措置について

東京電力福島第一原子力発電所の廃止措置の推進に資する研究開発及び人材育成の促進等の観点から、特別措置を設けることとします。特別措置は、高等教育機関（学校教育法に定める大学、高等専門学校、専門学校）及び中小企業（中小企業基本法に定める中小企業者）を対象とし、施設の運転に係る経費単価（取扱手数料及び追加経費としての電気・水等の利用実費を除く。）の1/2を免除することとします。本特別措置期間は、平成28年度から当面3年間程度とし、今後の施設の運用状況等を勘案して、必要に応じて見直しすることとします。なお、利用料金は、今後、運営に係る経費等の見直しにより改定される場合があります。料金改定後は、その料金が適用されますのでご承知おき下さい。

個人線量管理費用(追加経費) ※各施設共通		
		(単位：円)
OSLバッジ	970	貸与数1個・交換又は返却1回当たり(以下同じ。)
中性子線量計 (OSLバッジ使用を含む)	1,100	
	1,740	線量を測定した場合